

ボールの特性レポート

BALL REPORT



| | | | | | | |
|------|-------------|-----|-------|-----------------------|------|-----------|
| ボール名 | VENOM COBRA | | 投球者 | 徳江 和則 | センター | 平和島スターボウル |
| RG | 2.470 | △RG | 0.035 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール | | |

テストボール：VENOM COBRA

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

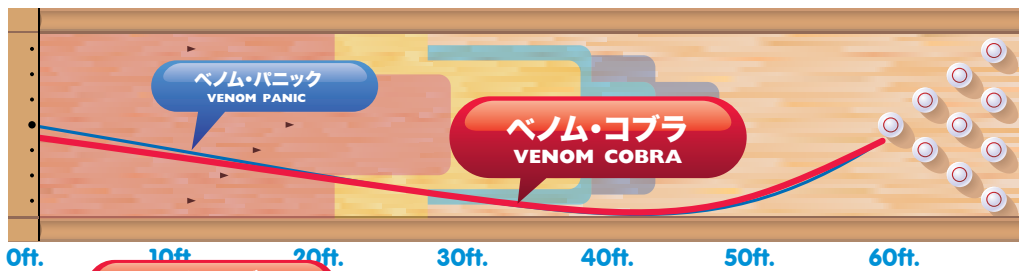
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：VENOM PANIC

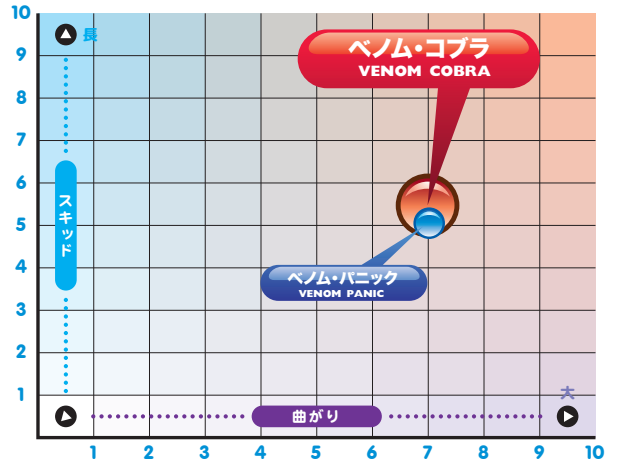
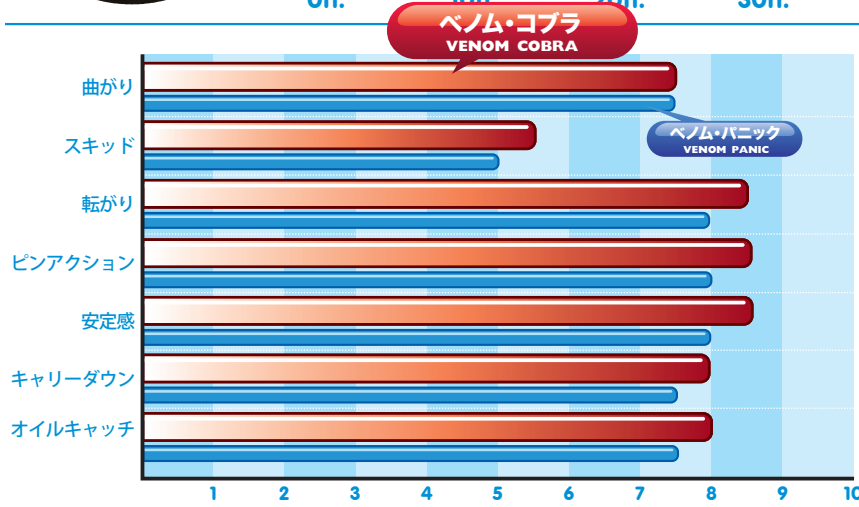
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

MOTIV社の次の刺客はVENOMの最新作のCOBRA。今や全世界で愛好者が多いMOTIV社ですが、日本では人気を占める殆どがHP(High Performance)の領域に近い性能領域でした。多くのユーザーがすべてのボールをMOTIV社のボールで統一しようとする中で、どうしてもLight Mediumの領域の層の薄さを感じていたのも確かだと思います。今回のVENOM COBRAはそのLight Medium領域を埋める最も適した、しかもその領域では群を抜いている性能に仕上がって発売されます。

今までVENOM Seriesで使われていたGear Coreは上部にweight Blocを新たに追加した”Top Gear Core”に変更され、新しく開発されたCoverstockに”Sabotage Hybrid Reactive”を採用しています。日本で先行してTest DriveしたTeam Motiv Captain 北岡義実プロとのミーティングでは、「ミディアムコンディションからその以下で絶大な信頼をおけるボール」、「この領域でこれほどバランスの取れたボールはない」、「PARANIAとVENOM COBRAで中盤から後半さらに勝負できるボールが増えた」等、過激には動かないが、運動性能からコントロール性、CoverstockがWeak(弱い)過ぎない仕上がりが絶品と報告を受けました。私の投球した感想もどちらかといえば、やや遅くなってきたときに安定して先で動くボールというイメージを持ちました。Coverは走り系に分類されますが、スキッドの中に常にレーンとコンタクトを取っているかのような、オイルに対して弾かれる過ぎるような弱さはありません。過激に動く性能というよりはコントロール系とフリップ系両面のイメージができるので、軌道が読みやすく、ポケットに対しての入射角も取りやすく感じました。

特記事項

VENOMでおなじみのGear Coreが一新されTop Gear Coreに変更されています。新しく採用されたSabotage Hybrid ReactiveはLight Mediumで抜群の安定したPerformanceを発揮します。